

# ウイルス感染症が多発しています。

★今年は寒暖の差が大きく、1月以降に県内でウイルス病が多発しています。その他、集団で呼吸器病がみられる農場があります。

★ウイルス感染症は1. 病原体 2. 環境 3. 宿主(牛) の組み合わせによって発生が起こります。

## ＜発生事例＞

農場	地域	ウイルス	症状
和牛繁殖農場	飛騨地域	牛コロナウイルス病	血様下痢 (育成牛・成牛)
乳肉複合農場	西濃地域	牛RSウイルス病	発熱・鼻汁 (子牛・成牛)
酪農	中濃地域	牛RSウイルス病	発熱・鼻汁(子牛)

★外部からウイルスを持ち込まないようにしましょう

→不要、不急な関係者以外の農場への立入を制限してください。踏み消毒層や農場専用長靴を設置しましょう。また、導入牛の隔離飼育を行ってください。

★畜舎の換気不良はありませんか？

→換気が悪いと、畜舎にアンモニアやホコリがたまり、喉・気管の粘膜を障害し、ウイルスが感染しやすくなります。

★適切なワクチン接種を行いましょ

→ワクチンプログラムを再確認してください。  
ワクチン接種のタイミングによって効果が異なります。  
※詳しくは、獣医師若しくは家畜保健衛生所へご相談ください。

★ストレスを軽減しましょ

→密飼いを避け、汚れた敷料のこまめな交換を行ってください。  
子牛を寒さから守る対策(保温ランプの設置やカウジャケットの着用など)もしっかりと行いましょう。



などの対策をお願いします。

※また、平成28年度分「定期報告書」の提出をお願いします！

異常がありましたら家畜保健衛生所までご連絡ください。

中央家畜保健衛生所 (西濃総合庁舎内)

〒503-0838 大垣市江崎町422-3

TEL: 0584-73-1111(内線314) FAX: 0584-73-4422

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

